

第5回岡田地区意見交換会

**「新たな地域コミュニティ」の
実現に向けて**

令和7年2月22日

目次

01 第4回意見交換会の振り返り

02 意見交換会を継続する理由

03 市が推進する「地域コミュニティ協議会」とは
—事例紹介— 豊田地域コミュニティ協議会準備委員会

04 「地域コミュニティ協議会」設立に向けて動き出してみませんか？

05 ワークショップ

今日の話し合いのルール

ROPEs

R	お互いを尊敬し、尊重すること
O	心を開いて
P	話したくないときは「パス」といっていい
E	共感と興味をもって/ワクワクしながら
S	みんなが安心してお話しできるように/自分の気持ちに素直に/思ったことを伝える/ユーモアをもって

01 第4回意見交換会の振り返り

誘い方のコツ

実践できましたか？

1. お互いを知り合い、つながりをつくる
2. 緊急性・背景を伝える
3. 活動に参加してもらえるかをはつきりと聞く
4. 参加を約束してくれたら、仕事と責任をお願いする



参考：COJテキスト

02_意見交換会を継続する理由

① 地域の現状

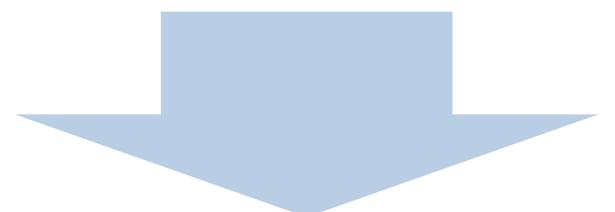
近隣市等への転出超過と人口減少
超高齢社会（高齢化率↑・出生率↓）に移行
単身・核家族世帯の増加

② 地域の課題

地域活動の担い手不足
役員の負担増
コミュニティの希薄化
ライフスタイルや価値観、地域課題の多様化

③ 地域の今後への不安

10年後、20年後私たちのまちはどうなっていくのか？
大規模災害が起こったら助け合える体制はできてるのか？
お祭りなどの伝統文化を継承していくのか？
子供や高齢者の見守りは誰がやってくれるのか？

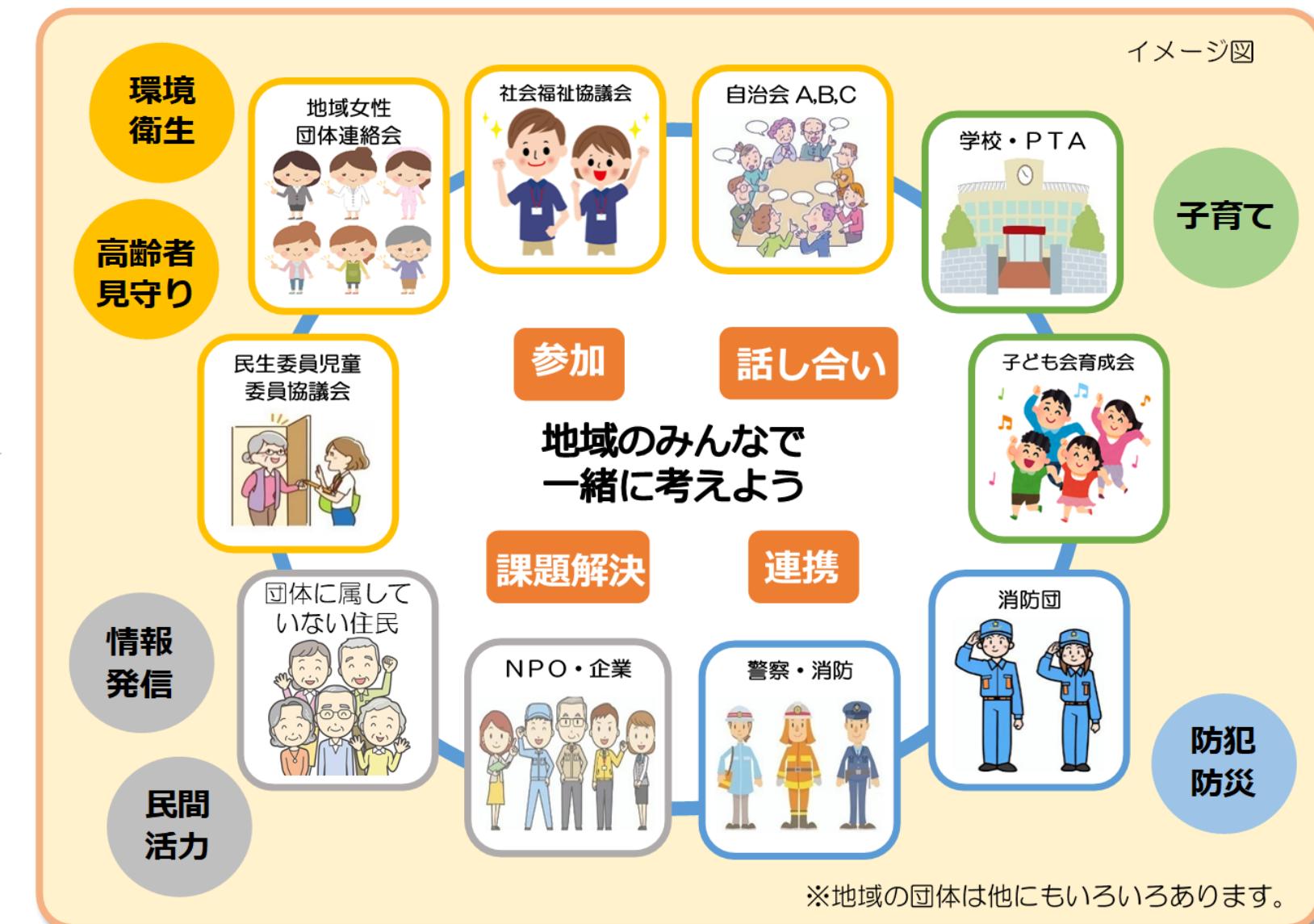


様々な不安を解消し、誰もが将来にわたって安心安全で住みよいまちにするため、
子供から高齢者まで世代を超えた方が集まって対話をする場を設けるために意見交換会を継続

03_市が推進する「地域コミュニティ協議会」とは

多様化、広域化する課題に継続的に対応するため、地域内で個別に活躍している個人や団体同士が横につながることで「連携」し、地域にとって必要なことを「話し合い」、各種団体だけでは対応できない地域の「課題解決」に向けて取り組む一体的な活動を推進する仕組みです。

負担軽減
活動の効率化
活動の継続



地域との
関わり

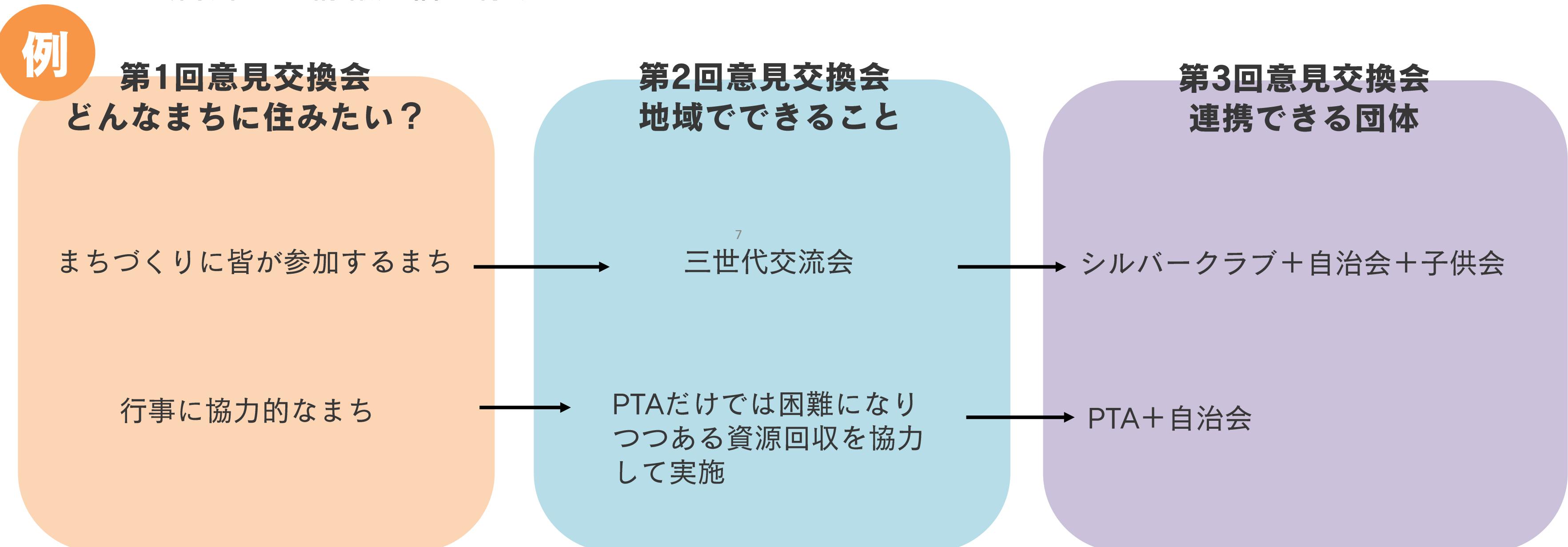
生き
がい

つな
がり

地域コミュニティ協議会の基本的な取り組み

- ・地域課題、住民の困りごとを情報共有し、解決に向けてできることから実行
- ・地域資源を再確認し、活用について話し合う
- ・多様な住民の参加を促す
- ・地域内外への情報発信を行うなど

例



地域コミュニティ協議会設立のメリット

- ・ 地域の課題が情報共有できます
- ・ 地域の未来を話し合う機会をつくることができます
- ・ 地域の困りごとを自分たちで解決できます
- ・ 新たな人材の発掘に繋がり、担い手不足が解消できます
- ・ 組織がつながることで、役員の負担軽減に繋がります

市の支援

市も3つの視点で参加します

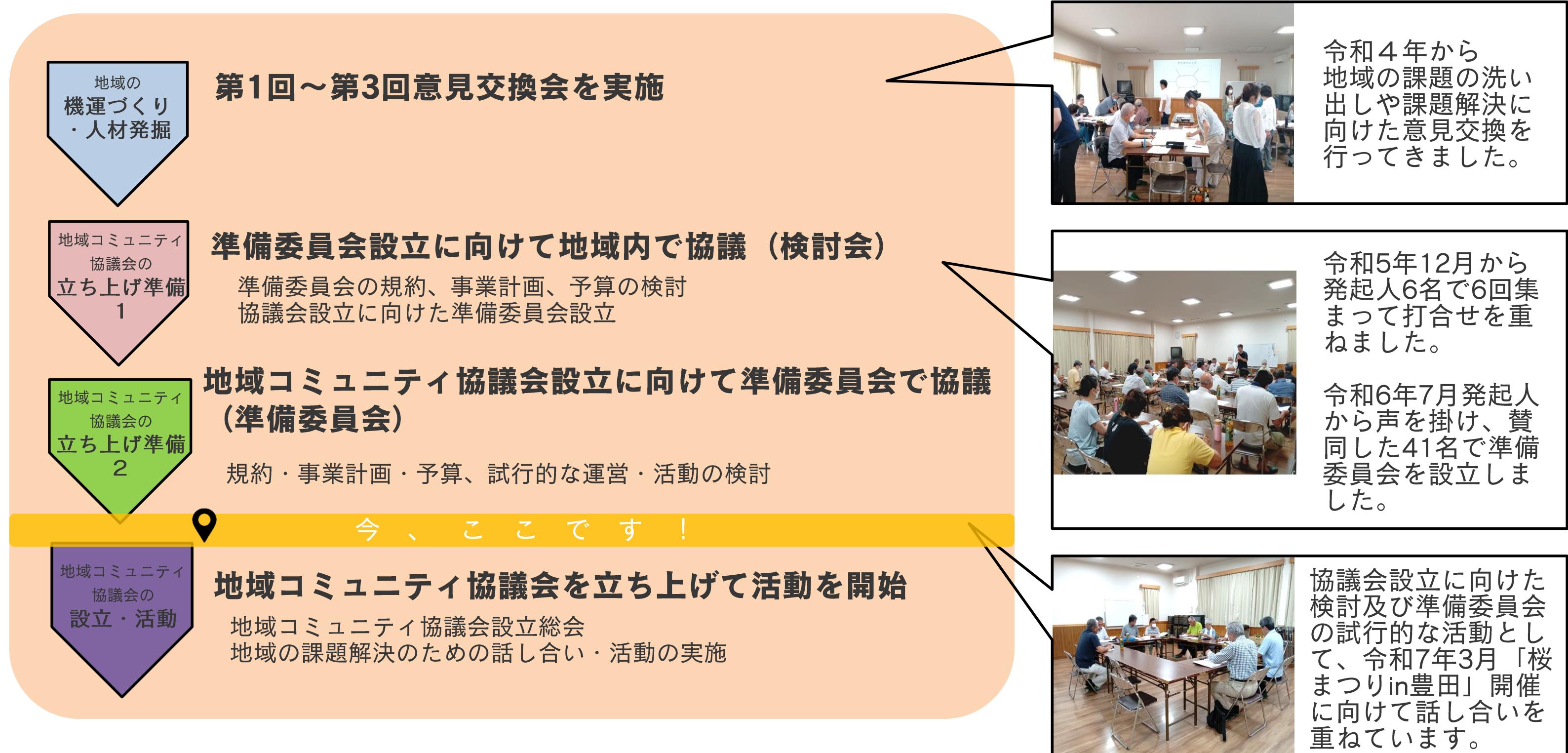


- ひと
- 拠点
- 資金

- ・ 地域と行政の橋渡し・調整
- ・ 協議会設立準備から設立・運営への参加
- ・ 活動拠点の検討
- ・ 公共施設等の活用の検討
- ・ 組織運営、事業実施に対する補助金の検討

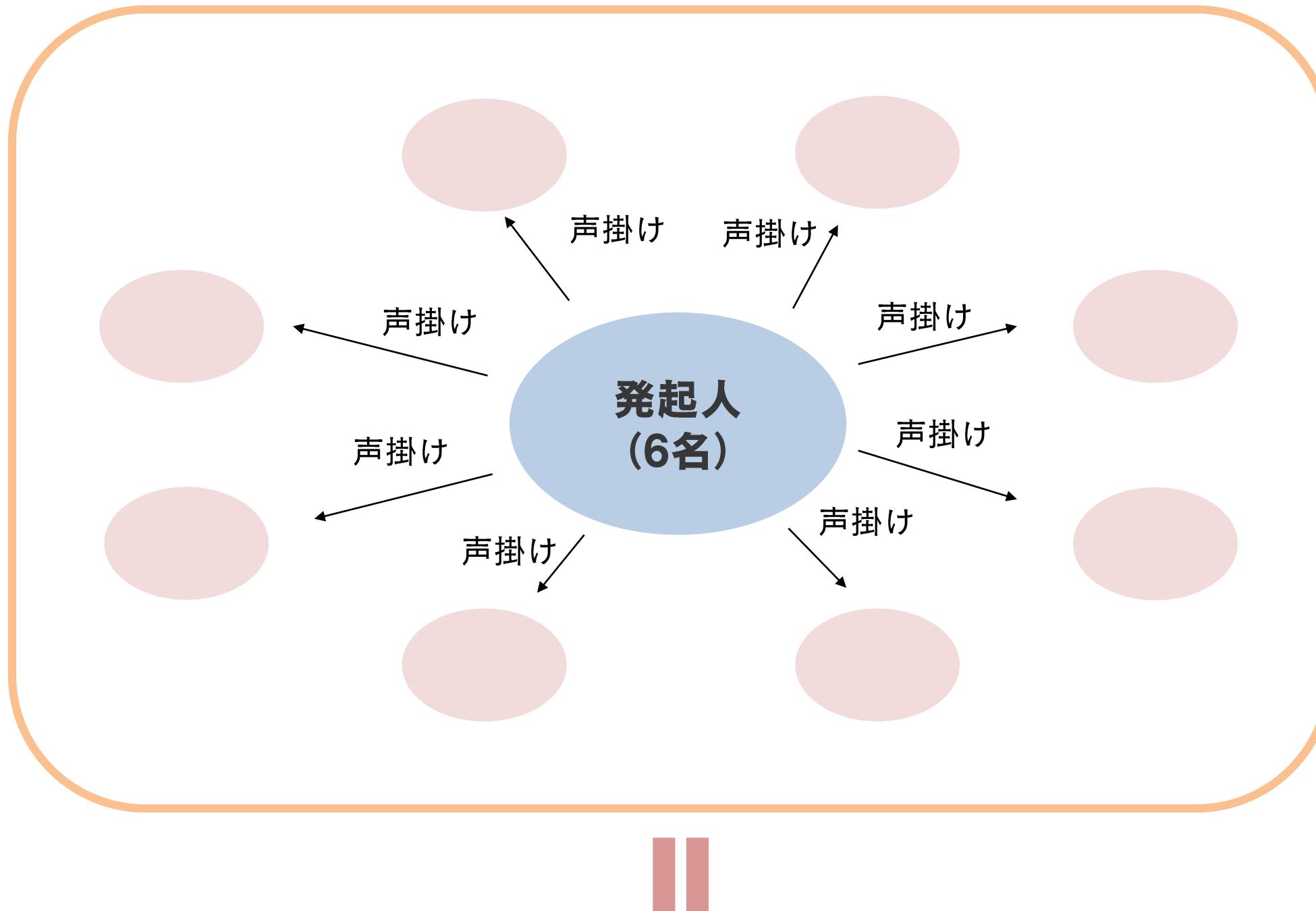
<事例紹介> 豊田地域コミュニティ協議会準備委員会

令和7年4月協議会設立を目指し活動しています



(1) メンバーの集め方

地域コミュニティ
協議会の
立ち上げ準備
1

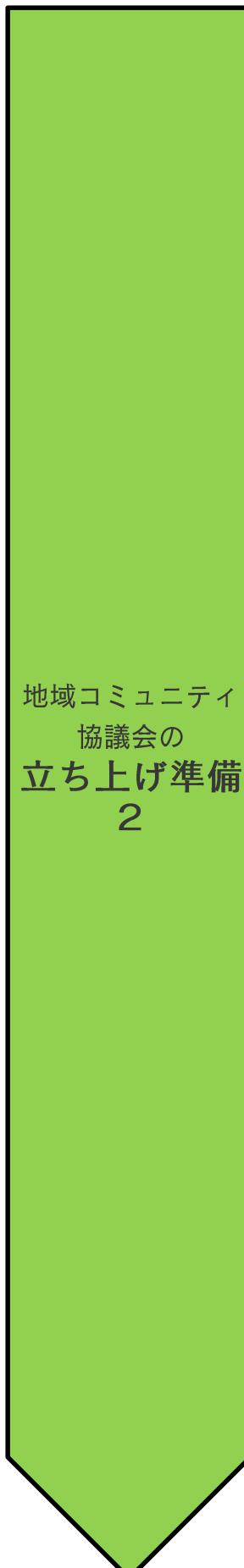


準備委員会メンバー (41名)

(2) 準備委員会設立に向けた協議の詳細（令和5年12月～令和6年7月）

地域コミュニティ協議会の立ち上げ準備 1	日付	参加者	打合せ内容	人数
	令和5年12月19日～令和6年4月11日	発起人	第1回～第6回発起人打合せ 第1回：地域コミュニティ協議会設立に向けての説明 第2回：メンバーへの声掛け方法について 第3回：上郷市街地活性化協議会との意見交換会 第4回：準備委員会メンバーの洗い出し、声掛け 第5回：準備委員会メンバーへの声掛け報告、今後のスケジュールについて 第6回：意見交換会の事前打合せ	6名
	令和6年4月21日	発起人から声掛けしたメンバー	第1回検討会 発起人から地域コミュニティ協議会設立の必要性を説明し、協議会設立の賛同を得る	37名
	令和6年5月24日	発起人	第7回打合せ 組織の名称や準備委員の検討	6名
	令和6年6月8日	発起人から声掛けしたメンバー	第2回検討会 組織の名称決定、準備委員の選出、今後のスケジュールについて	30名
	令和6年6月22日	発起人	第8回打合せ 準備委員会設立総会の内容検討	3名
	令和6年7月28日	発起人から声掛けしたメンバー	準備委員会設立総会 準備委員会規約、役員、事業計画、予算等の承認	31名

(3) 準備委員会における協議会設立に向けた協議（令和6年8月～）



日付	参加者	打合せ内容	人数
令和6年8月5日 ～9月29日	役員	第1回～第5回役員会 第1回：今後のスケジュール 試行的な活動（桜まつりin豊田）について 第2回：桜まつりの現地確認、内容について 第3回：桜まつりの内容、補助金申請について 第4回：桜まつりの内容、補助金申請について 第5回：桜まつりの内容、補助金申請について	11名
令和6年10月6日	準備 委員会	第1回準備委員会 (桜まつりの事業内容について承認)	
令和6年11月～	準備 委員会	桜まつりの実施に向けた準備 協議会設立に向けた協議	



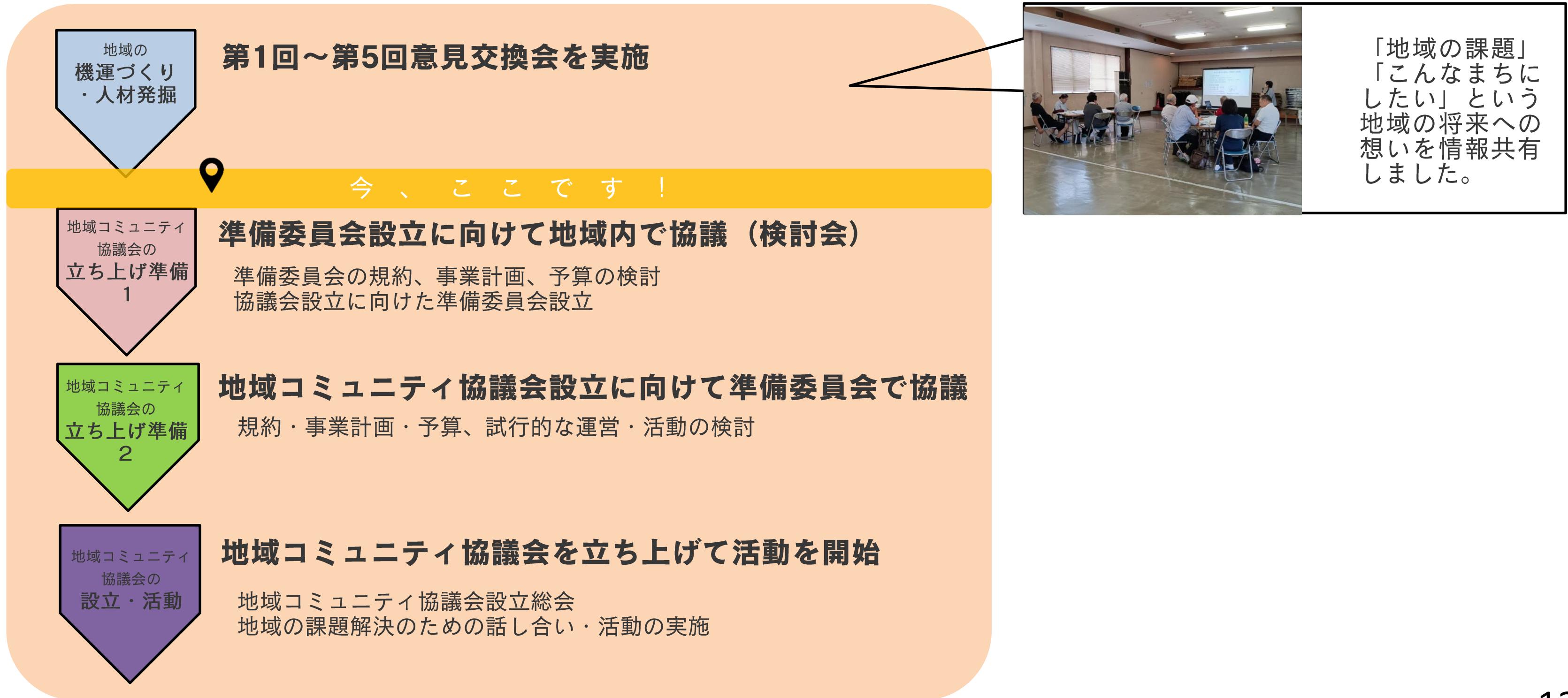
<メンバー構成>

準備委員会 (41名)

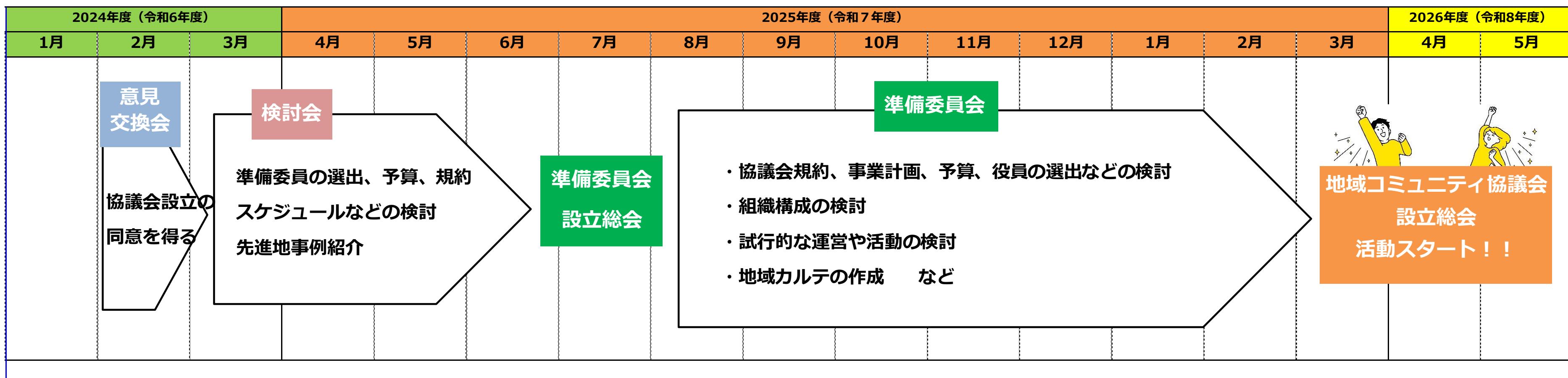
役員
(11名)

04_ 岡田地区で「地域コミュニティ協議会」設立に向けて動き出してみませんか？

岡田地区の現状



岡田地区 地域コミュニティ協議会設立に向けたスケジュール（案）



05_ワークショップ

**地域コミュニティ協議会で活動したい取組み
(=地域ビジョン) を考えてみましょう！**



例

陽東地区 まちづくりビジョン



私たちが暮らす陽東地区をさらに明るく住みやすいまちにしていくため、陽東地区まちづくり協議会では3年間で全16回のビジョン策定委員会を開催して地域の課題やその対応策について討論を重ね、ここに「陽東地区まちづくりビジョン」として取りまとめました。

陽東地区 まちづくり 協議会 陽東地区 地域ビジョン 策定委員会 地域の目指す姿

令和2年(2020年)3月

住んでよかった ずっと住みたい このまち 陽東

テーマ 課題

課題

- 1) LRTによる車・人の動きの変化とそれに伴う騒音・排気
- 2) 平出工業団地からの臭いや粉じん対応
- 3) ごみ出しマナーの改善



5. 防災

課題

- 1) 避難訓練の実効性改善、参加者の拡充
- 2) 避難所の明示、避難ルートの路上表示
- 3) 避難情報の周知迅速化、自治会会員以外への呼びかけ
- 4) 冠水しやすい場所への水深ゲージの設置



6. 防犯

課題

- 1) パトロールの充実強化
(パトランの実施)
- 2) 防犯カメラ・防犯灯の設置促進
- 3) 子どもの逃げ場としてのコンビニ活用
- 4) 特殊詐欺の防止



テーマ 課題

対応 (まちづくり協議会)

◇騒音や排気等の問題が生じた場合にはWeb(ウェブ)等で投書を受け付け、必要に応じ、市と協議の場を設け適切な対応を要請していく。

◇平出工業団地からの異臭等については、住民からの情報を市へ伝達し、適切な対応を要請する。必要に応じ、工場の見学や排ガステータ等の提供依頼等を行っていく。

対応 (リサイクル推進委員会)

◇ごみの分別に関する研修会やチラシの配布等により引き続き住民の啓発活動を実施する。

◇新たに「美化評議会」を設置し、ごみステーションの美化100%を目標に活動する。

対応策
(協議会で活動する取組み)

対応 (自主防災会)

◇2019年の台風19号災害の経験を踏まえ、新たに「陽東地区防災計画」を策定し、避難訓練の充実改善や避難所の明示等を進めていく。

◇避難情報発令時の連絡網の整備を図るとともに、「防災ラジオ」の普及促進に努める。

◇水深ゲージの新たな設置が必要な場所を調査確認し、市と協議していく。

対応 (防犯ネットワーク)

◇パトラン(ジョギング兼パトロール)用の夜光タスキを作成し、ボランティア2名が実施中。さらに普及拡充を図っていく。

◇各自治会において、市の助成により必要な防犯カメラ・防犯灯の設置促進を図っていく。

◇陽東小PTAと連携し、コンビニなどの協力を得ながら「こども110番」看板設置個所の増設を図っていく。

◇特殊詐欺防止のため、高齢者等へPRを推進する。

例

テーマ

対応策（協議会で活動する取組み）

- ・ 防犯防災 : ★防災訓練を地区ごとに計画・実施、★交通ルール勉強会 等
- ・ 保健福祉 : ★子供が楽しめる行事を企画、★交流サロンの実施 等
- ・ 環境衛生 : ★ゴミ分別看板の多言語化、★定期的な公園の清掃 等
- ・ 生涯学習 : ★地域の中心となるリーダーの育成、★公民館の活用、 等
- ・ 多文化共生 : 多国籍料理教室、交流イベント 等
(※多文化共生…異なる国籍の方がお互いの文化的な違いを尊重し、対等な関係を築きながら地域社会の一員として共に生きていくこと。)
- ・ 情報発信 : SNSを利用した情報発信 等

「桜まつりin豊田」は、桜のライトアップと一緒に、以下の活動を実施予定！

- ・ 防犯防災：ハザードマップや非常食の配付・ランタン作り
- ・ 保健福祉：高齢者の送迎
- ・ 環境衛生：会場の除草、ゴミ拾い

岡田地区の目指す姿は？

例

ずっと住みたい このまち 岡田

住民がともに支え合い、明るく活力のあるまち 岡田

1. 「この地域で暮らすあなたにとって地域で起きているどのようなことに関心がありますか？」

【岡田地区】

1	ゴミ問題（ゴミの分別、マナー等）
2	道路が狭い、歩道がない
3	地域の交流が少ない
4	空き家の増加
5	交通の便が悪い、移動手段の心配
6	高齢者同士の関わりの減少
7	公民館の利活用

【全体】

1	地区内のコミュニケーションが取れていない
2	道路の危険個所、道路の除草
3	ゴミ問題（ゴミの捨て方、産業廃棄物の捨て方等）
4	子供が少ない
5	役員の担い手不足
6	空き家問題（空き家の増加、防犯、火災）
7	買い物問題（お店が遠い等）
8	高齢者の増加、一人暮らしの高齢者の増加
9	公共交通（移動問題、コミュニティバス）
10	祭りやイベントがない、参加者少ない



2. 「あなたが暮らしたいまちはどんなまちですか？」

【岡田地区】

1	安心して子育てができるまち（小児科の設置、公園）
2	買い物が便利なまち
3	行事に協力的なまち
4	まちづくりに皆が参加するまち
5	交通の便がいいまち
6	道路が広いまち
7	集まれる場所があるまち
8	医療が充実したまち

【全体】

1	地域内でコミュニケーションが取れるまち、つながりがあるまち
2	公共交通があるまち、交通の便がいいまち
3	買い物が便利なまち
4	子供たちが安心して過ごせるまち、子供の元気な声が聞こえるまち
5	医療・福祉が充実したまち、バリアフリーなまち
6	災害時に助け合えるまち、災害に強いまち
7	自然環境が豊かできれいなまち
8	老後も安心して暮らせる高齢者が元気なまち
9	安心して楽しく子育てができるまち
10	お祭りやイベントが楽しめるまち



グループ1 【関心のあること】

新しく来た人達との交流がない
地元の公民館利用して活動できたら(お話会から)
世代を超えた住民参加の行事
車がない方の移動手段
若い人が結婚して地元に残って生活できる地域になってしまい
外国语の方との付き合い方
老人会に入会しない人が増えた
若い人が結婚できる環境づくり

【関心事に対する取組み】

公民館イベントアレンジ会
自治区長をはじめ、役員さんと話し合う場を作る。各イベントをするためにリーダーが必要になるので、世代を超えた人達が集まって話し合い、相談する
若い人が出会いえるイベント
公民館で同窓会、結婚相手見つける

関心度が高く取り組みしやすい

関心が高い↔低い

取組みしにくい↔しやすい

第2回岡田地区(R5.2.18)¹

グループ2 【関心のあること】

高齢化社会
高齢化今後の移動手段
老々介護の心配
地域でお互いの顔が見えてどんな人かわかるまち
保育園を増やしてほしい
農業の担い手がいる
小児科ほしい
緊急病院が近くにほしい
災害時の訓練
公園の充実
行事に協力的なまち
週1移動スーパー場所を増やしてもらう
ゴミのないまちづくり

【関心事に対する取組み】

防災訓練を地区ごとに計画・実施
子どもも楽しめる行事を企画
公園清掃(定期的に)
定期的に清掃、当番制

関心度が高く取り組みしやすい

関心が高い↔低い

取組みしにくい↔しやすい

第2回岡田地区(R5.2.18)²

グループ3 【関心のあること】

病院の送迎バス
買い物の場所が遠い
子どもたちが下校するとき道路の両側を歩いているので、車の運転を注意しなければならない
消火栓の蓋と道路との段差が1cmくらいある。大型車が通ると地震のよう。震度2くらいの音がする。
道路が狭くて三輪車が通れない。車のマナーが悪くて怖い。
日枝神社公園の遊具が壊れていて危ない。トイレが古くて使いづらい。
家の敷地内でも犬のふん、ゴミのポイ捨てが減らない

【関心事に対する取組み】

移動スーパーの場所を増やす
欲しいものが手に入るシステムにしてほしい
道の片側に足跡を描く
道路の整備をお願いする
ゴミ分別資料の配布、大き目の看板の設置
犬のふん立て札をお願いする
市役所に対策をお願いする
公園の手入れをお願いする

関心度が高く取り組みしやすい

関心が高い↔低い

取組みしにくい↔しやすい

第2回岡田地区(R5.2.18)³

グループ4 【関心のあること】

日常生活が便利な地域
近所とのコミュニケーションの減少
人材育成、交流、地域育て
リーダー育成地域の中心となる人達を育てていく
※大人が背中を見せる
交流の場を作る
外国籍の方との共存
シルバークラブの存続
子供会の活動が少ない
公園が少ない
防犯カメラの数が少ない
ゴミの問題
ゴミのポイ捨てが多くなっている
高齢者が多い地区なので、災害時にお手伝いできない
道がきれいで安心して歩ける環境
小さい子の姿が見られない
買い物ができる場所が多い方がよい

【関心事に対する取組み】

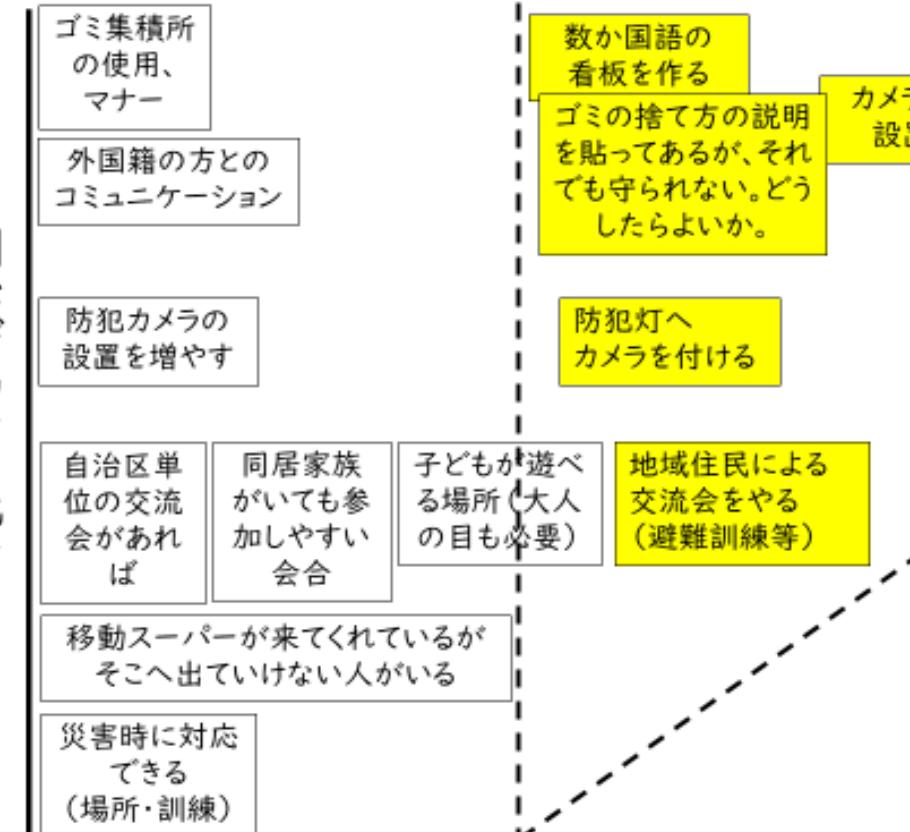
公民館をもっと有効に活用したい
交流サロンの場を小さなものから。公民館や空き家などを使用。
予算をとっても危険場所の確認をして防犯カメラを設置
ゴミの出し方について
・看板を立てる
・スマホでお知らせ(動画)
・パンフレットでお知らせ
・外国語対応(転入時に外籍の方に対応)

関心度が高く取り組みしやすい

関心が高い↔低い

第2回意見交換会
令和5年2月18日

グループ5 【関心のあること】



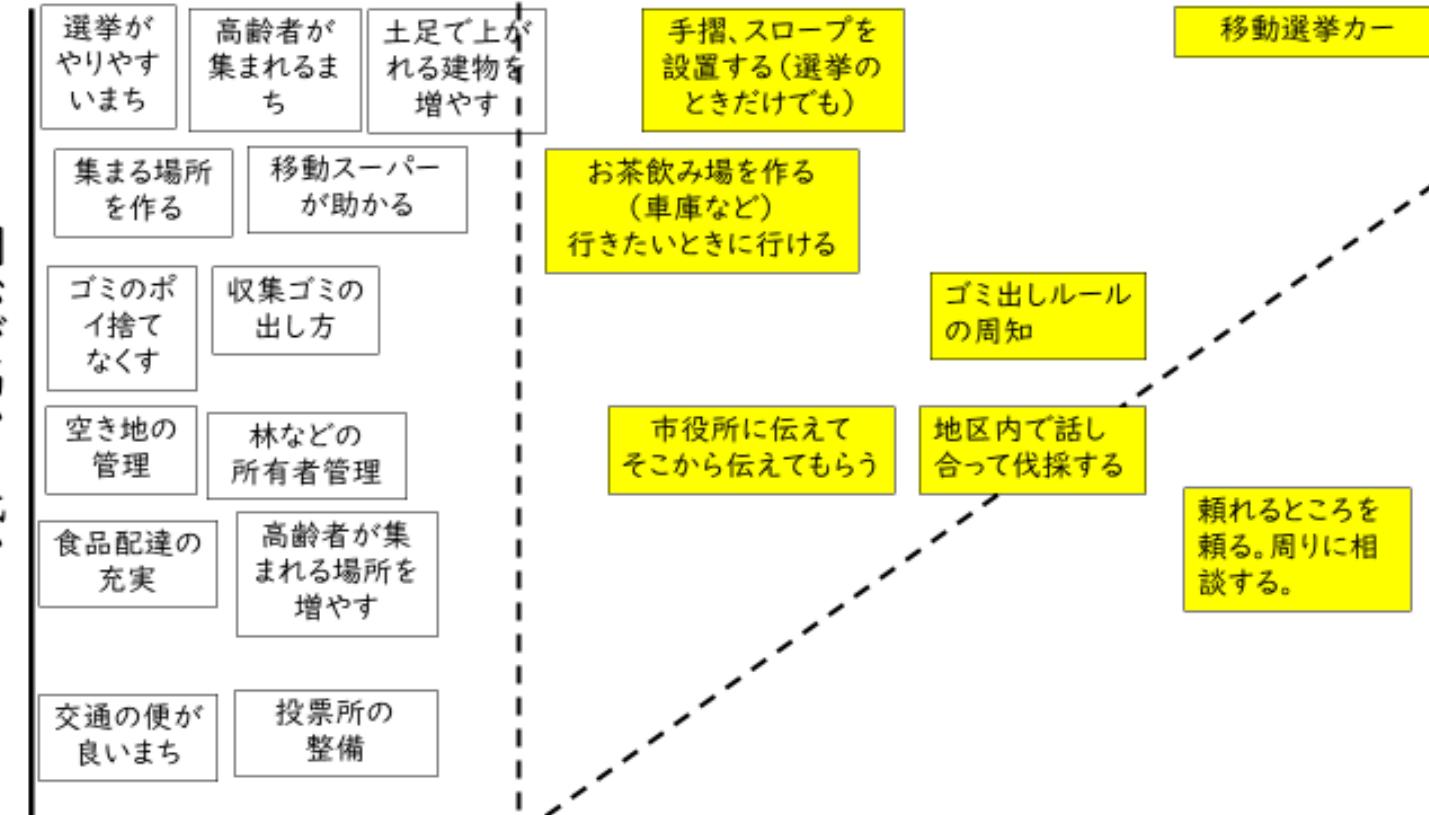
【関心事に対する取組み】

関心度が高く
取り組みしやすい

取り組みしにくく ⇌ しやすい

第2回岡田地区(R5.2.18)

グループ6 【関心のあること】



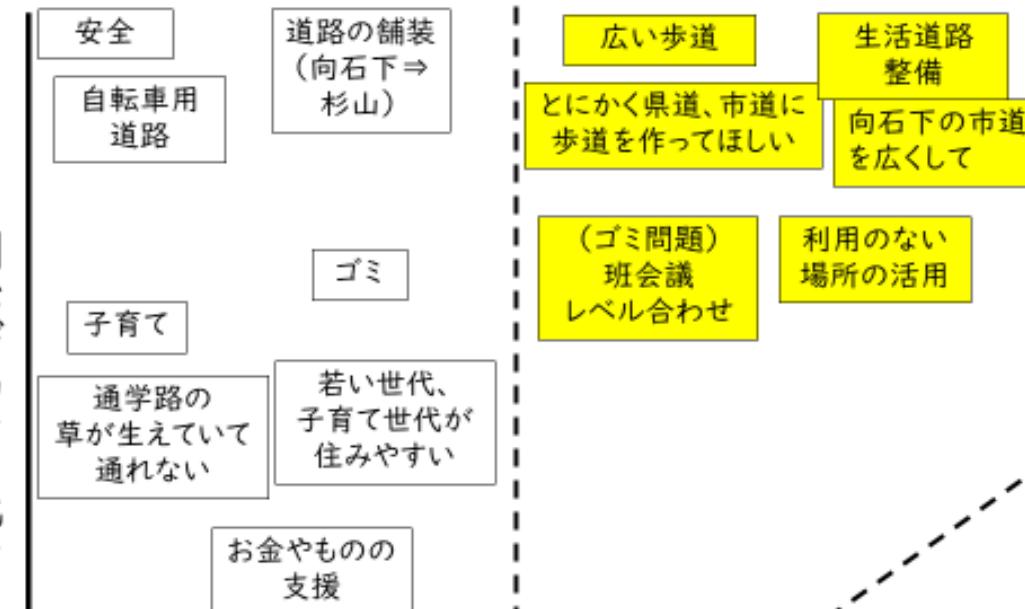
【関心事に対する取組み】

関心度が高く
取り組みしやすい

取り組みしにくく ⇌ しやすい

第2回岡田地区(R5.2.18)

グループ7 【関心のあること】



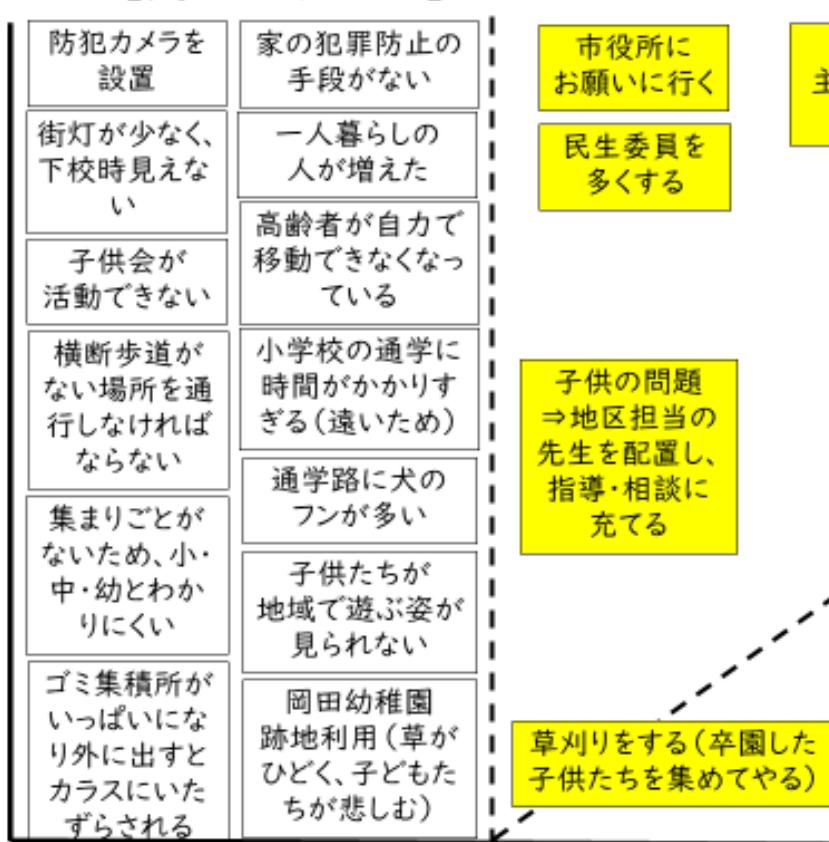
【関心事に対する取組み】

関心度が高く
取り組みしやすい

取り組みしにくく ⇌ しやすい

第2回岡田地区(R5.2.18)

グループ8 【関心のあること】



【関心事に対する取組み】

関心度が高く
取り組みしやすい

取り組みしにくく ⇌ しやすい

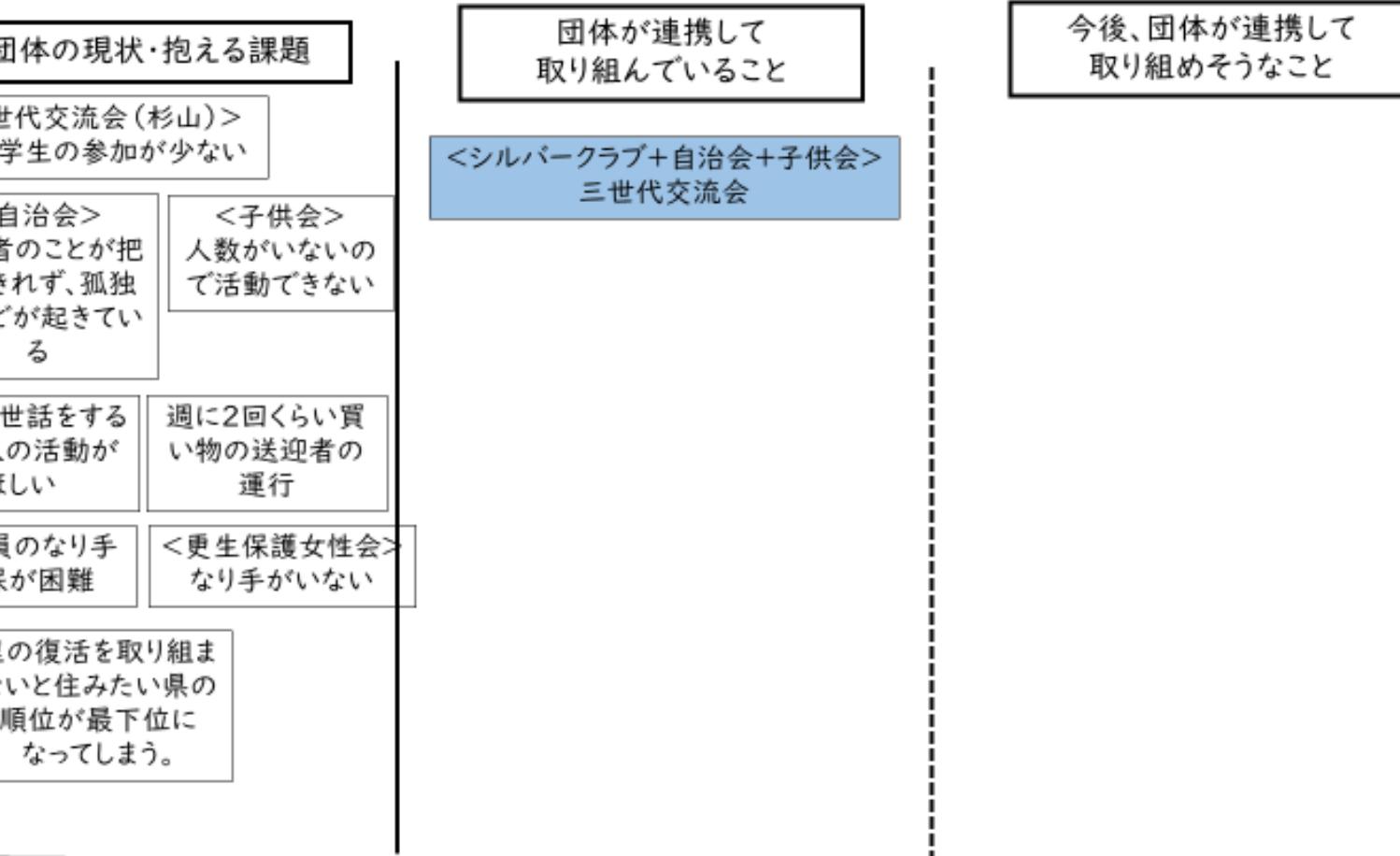
第2回意見交換会
令和5年2月18日

岡田地区で活動する組織・団体

- 自治会
- 青少年育成市民会議
- 子ども会
- PTA
- 青少年相談員
- 民生委員・児童委員
- 社会福祉協議会支部
- 生活支援コーディネーター
- 介護予防推進員
- シルバークラブ
- 自主防災組織
- 消防団
- 交通安全協会
- 防犯協会
- NPO法人
- グラウンドゴルフの会
- お食事ボランティアつくし
- お茶飲み会なでしこ
- さくら会（老人会）
- シルバーリハビリ
- いきいきクラブ
- など

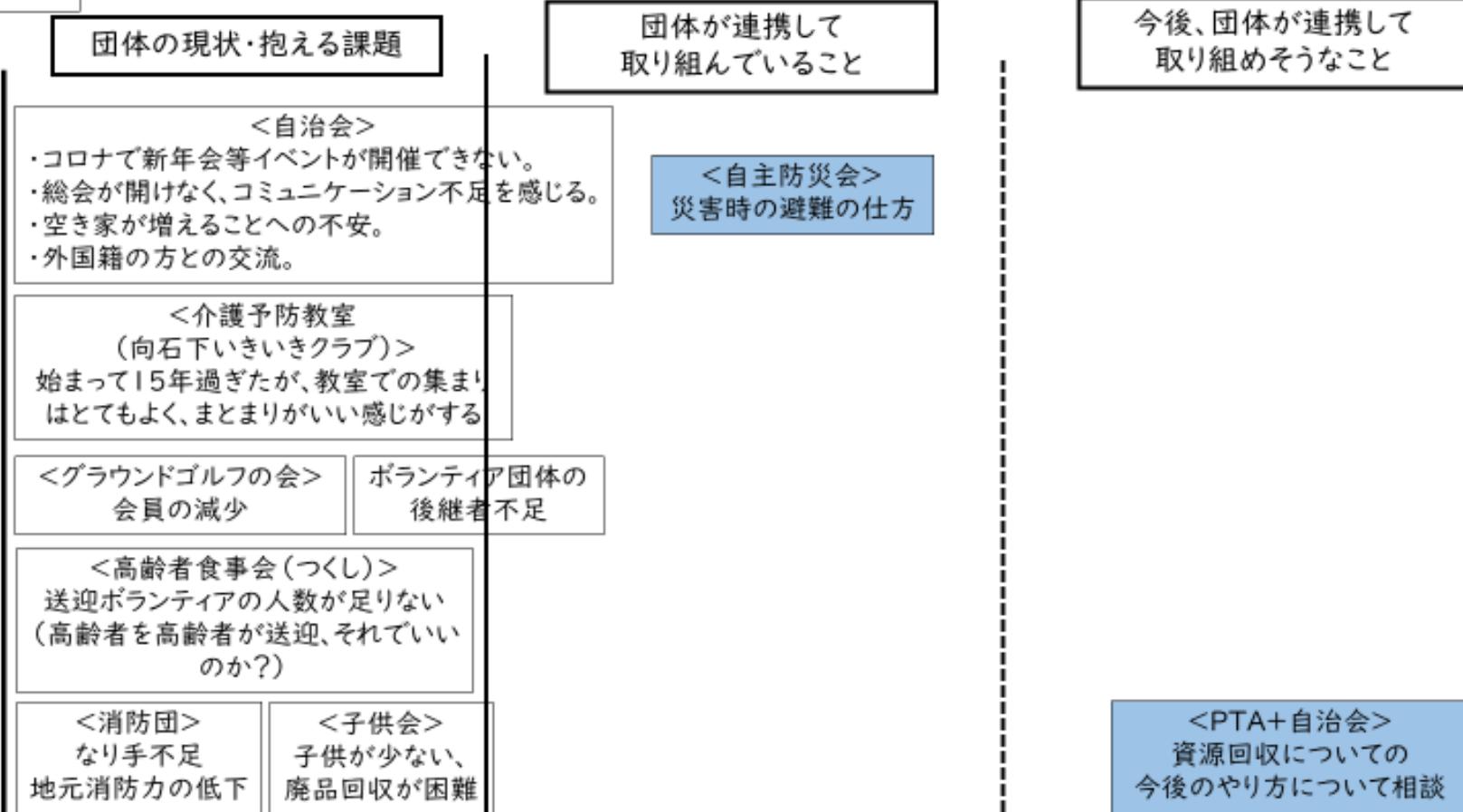
1

グループ1



2
第3回岡田地区(R5.11.5)

グループ2



3
第3回岡田地区(R5.11.5)



第3回意見交換会
令和5年11月5日

グループ1

どんな人に意見交換会に参加してもらいたいですか？

その人に意見交換会に参加してもらうにはどうすればいいでしょうか？

- ・自治区長さん
- ・子育て世代
- ・老人会の方
- ・岡田地区食事会
- ・磯山いきいき教室
- ・杉山さくらサロン代表の方
- ・地域内の子供会
- ・自治会加入の外国籍の方
- ・外国籍の住民
- ・参加者を差別しない

- ・岡田支部グランドゴルフ大会を開催
- ・各組織の代表に声掛けをする

あなたは誰に声かけをしますか？

- ・各自治区長
- ・自治会の班長さん
- ・消防団の各団長さん
- ・食事会つくしの会員
- ・グランドゴルフの参加者
- ・石下カラオケ会への声掛け
- ・子供会の役員
- ・地域内の企業団の代表

グループ2

どんな人に意見交換会に参加してもらいたいですか？

その人に意見交換会に参加してもらうにはどうすればいいでしょうか？

- ・自治区の班長さん
- ・小中高の学生
- ・子育て世代
- ・独居世帯の方

- ・役員さんの参加依頼を各班長にしてもらう
- ・子供会に声掛け
- ・当日、訪問し一緒に参加する

あなたは誰に声かけをしますか？

- ・区長から班長に声掛け
- ・子供会の会長
- ・地区の推進員の方に声掛けをする（4名）



第4回意見交換会
令和6年7月28日